



学校だより

[学校教育目標] かしこく 美しく たくましく

令和7年度 12月号
令和7年 12月1日
さいたま市立大谷口中学校

一体感をもって

校長 高村 昌利

師走を迎え、今年も残すところ登校日は18日となりました。これまで、生徒の皆さんのが毎日元気に登校してくれたことが、何よりの喜びです。また、保護者の皆様には、日々お子様を温かく送り出していただき、誠にありがとうございます。そして、地域の皆様方も子どもたちの様子を温かく見守っていただき、深く感謝申し上げます。

12月は、一年を振り返る月です。学校では現在、学校評価アンケートを実施し、令和7年度の教育活動を振り返るとともに、来年度に向けた改善点の検討を進めています。子どもたちにとって、よりよい教育活動を展開できるよう、教育課程の見直しにも取り組んでいるところです。保護者の皆様には、アンケートへのご協力をいただき、誠にありがとうございました。

先月から進路学習の一環として、3年生全員を対象に面接練習を行っています。緊張しながらも、志望理由を精一杯伝えようとする姿に、大きなエールを心から送ります。面接練習の最後には必ず、「大谷口中学校を紹介してください」「どのような学校ですか」と問いかけています。すると、生徒たちからは、「大谷口中学校の生徒はあいさつができます」「活気があってみんな前向きです」「生徒と先生の仲がとても良いです」「部活動や行事に真剣に取り組む学校です」といった、校長として嬉しい言葉がたくさん返ってきました。もちろん、課題もありますが、生徒たちが感じている学校のよさをさらに伸ばし、教育活動を推進していかなければと、改めて考えさせられました。来年も、前向きに挑戦する気持ちを大切にし、大谷口中学校のよさを発揮していきたいと思います。

これまで、私自身が校長として特に意識してきたことがあります。それは、生徒の「大谷口中への帰属意識」や「一体感」を大切にすることです。「自分は大谷口中学校の一員である」と自覚し、学校への愛着をもってほしい。「一人ではない、仲間がいる」「周りの大人はいつでも支えてくれる」、そうした安心感を生徒に持ってほしいと考えてきました。そのために続けてきたことが「全力ハイタッチ」です。朝礼や表彰式、始業式や終業式、学校総合体育大会や新人戦の大会前などに、全校生徒と全教職員でハイタッチを交わします。「大谷口中最高!」「みんなで頑張ろう」「お疲れさま!」と声を掛け合い、気持ちを分かち合うことで、一体感を育んできました。今後も、チーム大谷口中として、生徒・教職員が一体感のある学校を目指して、前向きに取り組んでまいります。

さて、12月は一年の締めくくりであると同時に、新しい年への準備の月でもあります。これまでの自分自身の歩みを振り返り、自分の成長をしっかり実感してください。そして来年に向けて新たな目標を掲げ、希望をもって歩みを進めてほしいと願っています。小さな一歩でも、積み重ねれば必ず大きな成果につながります。努力を惜しまない姿勢と、仲間を思いやる温かな心を大切にしてください。

冬休みは、心と体を整える大切な時間です。学習の振り返りや読書に取り組むのもよいでしょうし、家族との時間を大切にすることも、心を豊かにしてくれます。新しい年を迎える準備を整え、健康に気を付けながら、穏やかに過ごしてください。

2025年も残りわずかとなりました。今年一年、保護者の皆様には学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。生徒の皆さんのが安心して学び、挑戦できる環境は、保護者の皆様、地域の皆様の温かな支えによって成り立っています。来年も引き続き、学校・家庭・地域が力を合わせ、生徒の健やかな成長を見守っていければと思います。

新しい年が、皆さんにとって笑顔と希望に満ちた一年となりますよう、心から願っています。どうぞよいお年をお迎えください。